



平成21年度日本－欧州先端科学セミナーの開催について

概 要

平成21年度日本－欧州先端科学セミナーを平成22年2月27日(土)～3月4日(木)に九州大学医学部百年講堂において開催します。

本セミナーは、独立行政法人日本学術振興会と欧州科学財団が協力し、日欧の新進気鋭の若手研究者が集まり、最先端科学を扱うセミナーとして、毎年1回日欧相互に開催しており、平成21年度は東京首都圏以外では初めて、九州大学を実施機関として開催します。

今回はテーマとして考古学や歴史学を中心とした「アジアとヨーロッパにおける帝国と周辺：複雑性、偶発性、因果性 (Contact Zones of Empires in Asia and Europe: Complexity, Contingency, Causality)」を取り上げ、本セミナー初の理工系以外のテーマでの開催となります。なお、セミナーは全て英語により行います。

■内 容

本セミナーは、紀元前3世紀以降、ユーラシアの東と西に並び立ったローマ帝国と秦・漢帝国という2つの古代帝国の周辺で興った国々と帝国との関係を学際的な観点から検討することにより、考古学や歴史学のみならず、当時の自然・環境の観点からも研究の最前線を明らかにするものです。

具体的には、日本側及び欧州側機関の専門の研究者による集中的な講義、参加者によるショートトーク、ポスターセッション及び参加者相互の討議を通じて、参加研究者に対し、当該研究領域の将来を見据える深い知識を獲得するとともに、ネットワークを構築する機会を提供することを目的としています。

実施体制としては、日本学術振興会 (Japan Society for the Promotion of Science－JSPS) 及び欧州科学財団 (European Science Foundation－ESF) の支援の下、日本側は、コーチェアの西谷正 九州大学名誉教授・九州歴史資料館館長及びコーディネーターの溝口孝司 九州大学大学院准教授 (比文) を中心として、歴史学 (中国史) については妹尾達彦 中央大学教授が、考古学については田中良之 九州大学大学院教授 (比文)、宮本一夫 九州大学大学院教授 (人文) 及び松木武彦 岡山大学大学院准教授が、自然 (自然人類学) については米田穰 東京大学大学院准教授及び太田博樹 東京大学大学院助教が、環境 (気候学) については山本正伸 北海道大学大学院准教授の7名の研究者がそれぞれ講義を担当しています。

また、欧州側についても、コーチェアの Prof. Lise Hannestad (University of Aarhus, DK) 及びコーディネーターの Dr. Rüdiger Klein (European Federation of National Academies of Sciences and Humanities (ALLEA), NL) を中心として、古代ローマ文化・社会・政治・経済等を専門とする考古学・歴史学等の専門の10名の研究者がそれぞれ講義を担当するほか、九州大学国際部が事務処理等の支援を行うこととしています。

■スケジュール

2月27日(土) Day 1 (於：シーホークホテル)
welcome reception (歓迎レセプション)

2月28日(日) Day 2 (於：医学部百年講堂)

Session 1: Empires and their peripheries: interactions, interdependence and transformations

(帝国とその周辺：相互作用、相互依存及びその変容)

Session 2: Ethnic identities, language, population movements and social mobility

(民族のアイデンティティ、言語、人口動態、社会可動性)

3月1日(月) Day 3 (於：医学部百年講堂)

Session 3: Environment and food supply

(環境と食糧供給)

Session 4: Networks of interaction, production and exchange

(相互作用のネットワーク、生産及び交換)

3月2日(火) Day 4 (於：医学部百年講堂及び九州国立博物館)

Session 5: Ritual, symbolism and cosmology

(儀式、象徴、宇宙観)

Afternoon Half-day excursion (九州国立博物館見学)

3月3日(水) Day 5 (於：医学部百年講堂及びシーホークホテル)

Session 6: Empires and their contested peripheries in long-term and global perspectives

(長期的及びグローバルな視点からみた帝国とそれらの争奪された周縁)

Session 7 Conclusions and Perspectives

(結論と今後の展開)

Farewell reception (送別レセプション)

3月4日(木) Day 6 (於：シーホークホテル)

Breakfast and departure (朝食後、解散)

【お問い合わせ】

大学院比較社会文化研究院准教授 溝口 孝司

電話：092-802-5626

FAX：092-802-5626

Mail：mizog@scs.kyushu-u.ac.jp